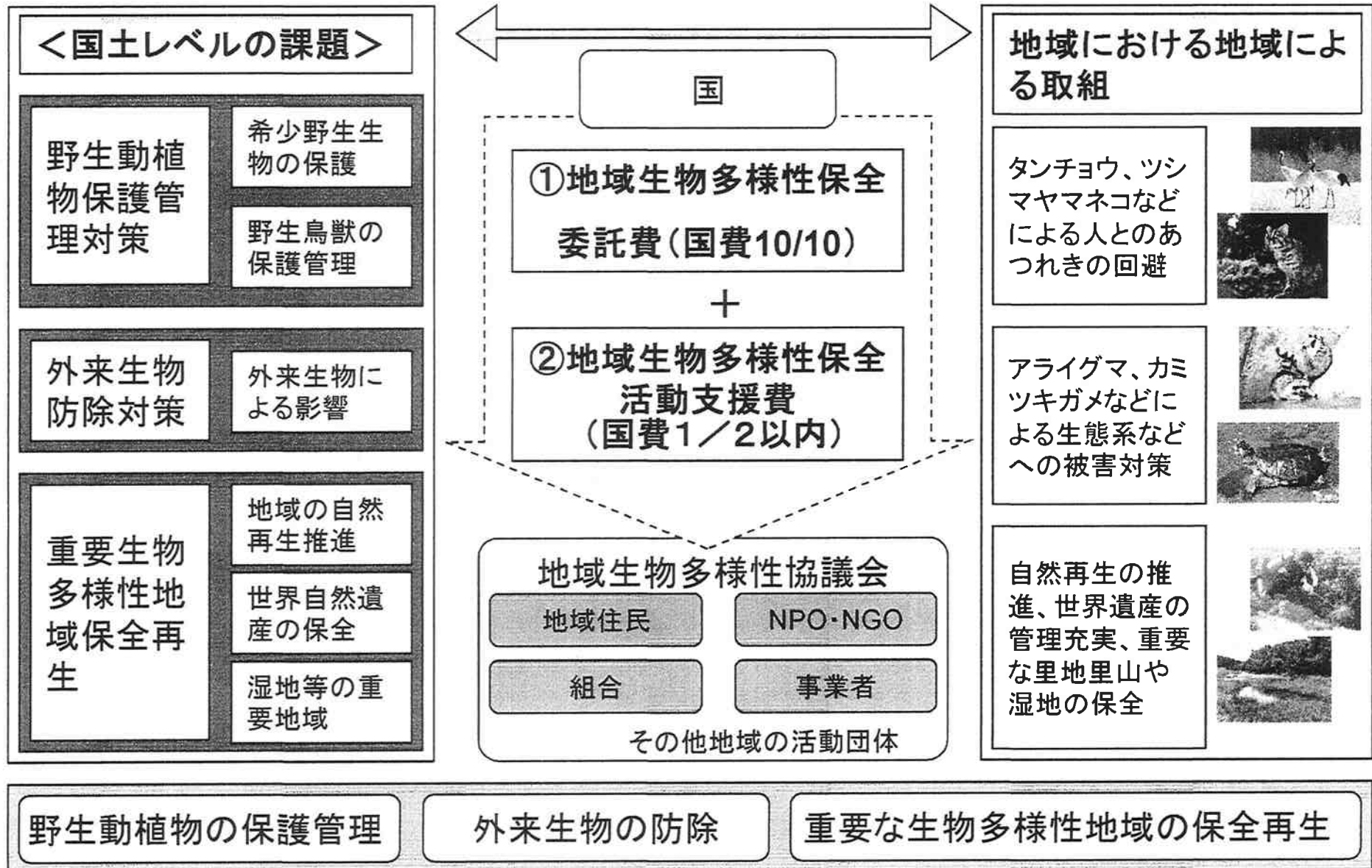


生物多様性保全推進支援事業



3Rイニシアティブの国際的な推進について

課題

基本的な考え方

具体的な取組

(単位：百万円、()内は19年度予算額)

廃棄物の発生
の増大と質の
多様化による
不適正な処理

循環資源の越境
移動の活発化
による国内外
の廃棄物処理・
リサイクルシ
ステムへの影
響

資源価格
の高騰

国際的な循環型
社会を構築する
ために、

- ① まず、各国の国内で循環型社会を構築し、
- ② 同時に、廃棄物の不法な輸出入を防止する取組を充実・強化し
- ③ その上で、循環資源の輸出入の円滑化を図ることが必要。

G8での議論・合意を受けて、3Rの取組をさらに推進。

1. 3Rイニシアティブの国際的な推進

142(120)

- ・北海道洞爺湖サミット等に向け、「ゴミゼロ国際化行動計画」を改定。
- ・東アジアにおける3R政策対話の場として「アジアにおける廃棄物・3R作業部会」をUNEP及びWHOの協力の下、議長国として運営。
- ・途上国における3Rを本格的に推進するため、事業化の前段階で必要な基礎的な調査を実施。また、東アジアでの循環型社会の構築に向けた基本的な考え方や目標を示す「東アジア循環型社会ビジョン」に関する調査を実施。
- ・UNEPが設立した「持続可能な資源管理に関する国際パネル」のテーマである資源の効率的利用による経済成長と、経済成長に伴う環境負荷低減に関する議論の活性化に向けて貢献。

●3Rイニシアティブ国際推進費 123

- (新) 「ゴミゼロ国際化行動計画」の見直しと実施 7
- (新) アジアにおける廃棄物・3R作業部会の運営 13
- (新) アジア3R事業化推進基礎調査 10
- (新) 東アジア循環型社会ビジョン調査費 13

●(新) UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」支援 19

2. 廃棄物等の不法輸出入防止対策

59(48)

- ・廃棄物等の輸出入について、バーゼル条約に基づく制度運用及び水際対策を強化するとともに、途上国向けの有害廃棄物の輸出入を禁止するバーゼル条約95年改正への我が国の対応について検討。
- ・アジア各国のバーゼル条約担当部局と連携し、各国の実施体制や規制に関する情報の共有を進める。

●バーゼル条約対策費 10

●アジアにおける資源循環の推進方策に関する戦略的検討 35

●バーゼル条約95年改正に関する戦略的検討 14

地域からの循環型社会づくり支援事業

60百万円（ 〇 ）

（ ）内は19年度予算額

循環型の地域づくりの核となる地方自治体やNPO、事業者の優れた取組の共有と全国への普及を目指し、各ブロック毎に先進事例の紹介を行うとともに地域のモデル的事业や循環型地域ビジョンづくりを支援する。

